

2020年1月5日(日)

大会プログラム



自転車安全祈願祭

SUZUKA WINTER ENDURO

第4回スズカウインターエンデュロ

主催
スズカウインターエンデュロ実行委員会

企画・運営
株式会社マトリックス

協力
三重県自転車競技連盟
株式会社モビリティランド
南船場スポーツグラスサロン 眼'z

マトリックス スポーツイベント 事務局

〒592-0012 大阪府高石市西取石7-7-33

TEL:072-340-1693

FAX:072-340-1698

MAIL:matrix-event@powertag.jp

リザルト速報



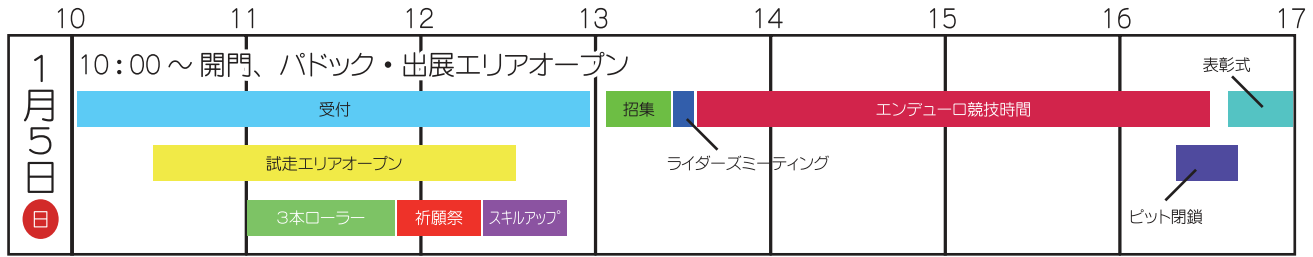
<https://matrix-sports.jp/1ap/>

協賛各社

イナーメ・スポーツアロマ / apt'&NAROO MASK / 株式会社オージーケーカブト / ダイレクトカーズ /
DECOJA / 株式会社ネックス / 株式会社パールイズミ / ピクルーサー / FEELCAP / FOOTMAX /
FUMPA PUMPS / MAVIC / ミトロング -V 株式会社 Re・蘇

スケジュール

鈴鹿市消防出初式を併催、見学は2F3Fからご覧ください。



10:00～	開門・パドックエリア、出展エリアオープン 受付開始(目安スタート30分前まで)	13:05～	ピットロードオープン・招集開始
10:30～12:30	試走エリアオープン(コース試走は不可) ※参加者のみ	13:10～13:20	選手コースイン
11:00～11:50	3本ローラー講習会(ピット No.21)	13:20～	ライダーズミーティング
11:50～12:10	自転車安全祈願祭(ピット No.5・6)	13:30～16:30	エンデュロスタート
12:10～12:45	スキルアップ講座(受付前)	16:25～	ピットロード閉鎖
		16:30～	競技終了
		16:45～	表彰式・じゃんけん大会

当日の大会運営上の変更事項のお知らせや緊急の呼び出しなどは場内アナウンスを使用しますので、速やかな対応をお願いします。

3本ローラー講習会【有料2000円 当日10:30から受付にて販売】

スキルアップ講座の前に3本ローラー講習会(有料)を行います。
乗り方、トレーニング方法などレベルに応じて、MATRIX POWER TAGの選手がレクチャーします。ご自身の3本ローラーを持ち込んでもOKなので、使い慣れたローラーでレクチャーを受けることが可能です。21番PIT内 11:00～ 先着20名

スキルアップ講座【無料】

チームマトリックスが行う講習会でレース中における安全走行や集団走行の注意点、サーキットの特徴などの説明をいたします。コースにはできませんので手ぶらでOK、参加者でなくても無料で受講できます。

集合:表彰ステージ前 11:50～

ライダーズミーティング

ライダーズミーティングは13:20からコース上スタートラインの整列した状態で行います。レースでの注意点や安全管理についてアナウンスします。

エンデュロ

	種目名	車種	ゼッケン色	参加資格	時間
301	3時間ソコ	ロードのみ	白	中学生以上	3時間
302	3時間ソコ 女子	ロードのみ	赤	中学生以上の女性	3時間
303	3×3時間(スリーバイスリー)	ロードのみ	青	中学生以上	3時間

公式記録

競技記録は以下の手順にて公式記録となります。
レース終了後、直ちに通告員より入賞対象選手を場内アナウンスします。同時にインフォメーションボードにレース結果を掲示します。通告、掲示後、10分経って異議申し立ての無い場合、競技結果は公式記録として確定します。
大会終了後は、大会ホームページにレースリザルトを掲載します。(配布はありません。)

すべての競技の1～6位は表彰ステージにて表彰式を行います。レース結果をインフォメーションボードで確認して、表彰式開始時間までに表彰ステージ付近に集合してください。

ご案内

会場内は火気厳禁

ピット、パドックほか会場内は火気厳禁です。

接触や追突に注意

競技の性質上、コースではスピードの異なる走者が同時にたくさん走るようになります。接触や追突などに十分注意することと、お互いにマナーを守って気持ち良く走れるようにしましょう。

遊園地内は自転車持ち込み禁止

自転車を遊園地内に持ち込むことは禁止されています。一般のお客様のご迷惑になりますのでご注意ください。

ピット

限られたスペースですので、みんなが気持ちよく使用できるよう譲り合ってください。尚ピット内のトラブルにつきましては一切責任はもちません。

コンセントは使用可能ですが、ストーブ、ポットなど消費電力が大きい製品はブレーカーが落ちる可能性があるため使用禁止いたします。

ピット内でテント、タープの使用は禁止です。

飲酒

飲酒後の走行禁止、見つけ次第厳重に処罰し、今後本大会には出場できません。

ピットビルの使用について

選手待機エリアのピットとして使用できるのは1Fと3Fのみです。ピットビルの2Fは本大会期間中使用できませんのでご注意ください。

2F・3Fへ自転車を持ち込むことはできませんので1Fピット周辺（パドック側）に施錠するなどして、各自で管理してください。

スポーツ傷害保険について

参加者全員を対象に傷害保険（通院日数×2,400円、入院日数×3,500円、死亡後遺症障害300万円）に加入しています。この補償内容で不十分な方は、各自で別途加入してください。

保険が必要な方は下記の内容をご確認の上、保険代理店（有）ネットワーク 平塚までメールをお送り下さい。

メールアドレス:ntw5616@yahoo.co.jp

（お送り頂いたメールへの返信は致しません。メール送信後3週間しても保険金請求書類が郵送されない場合は、御手数ですが御連絡下さい）

怪我をされた日時、お名前（ふりがな）、生年月日、〒住所、日中連絡の出来る携帯電話番号等
お怪我をされた体の部位、症状、参加種目、ゼッケン

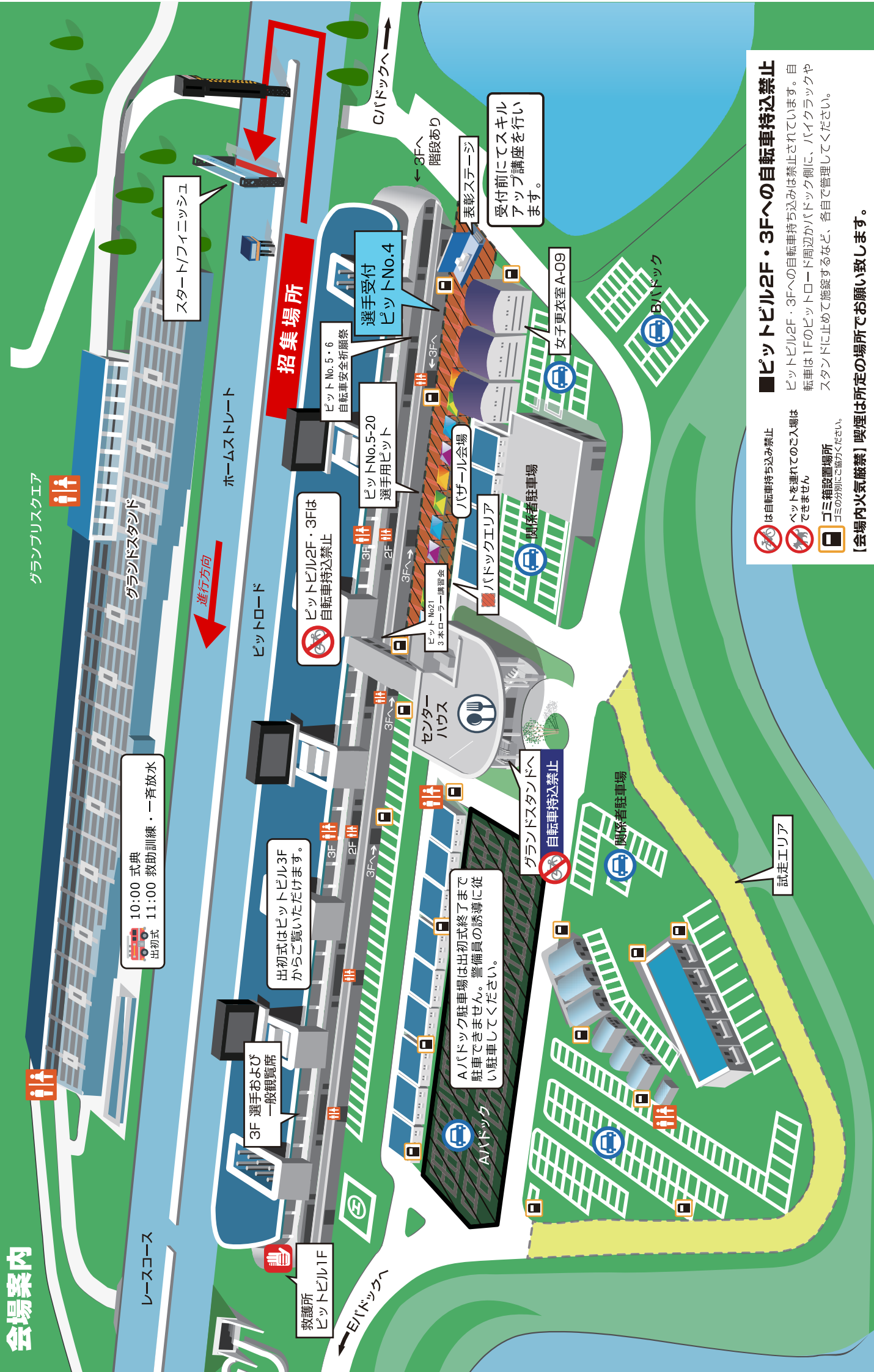
（株）損害保険ジャパン 代理店

（有）ネットワーク 担当 平塚 旬

〒274-0807 千葉県船橋市咲が丘1-25-15-202

携帯番号 090-8945-3254

会場案内



10:00 式典
出初式
11:00 救助訓練・一斉放水

3F 選手および
一般観覧席

出初式はピットビル3F
からご覧いただけます。

救護所
ピットビル1F

選手受付
ピットNo.4

ピットビル2F・3Fは
自転車持ち込み禁止

ピットNo.5・6
自転車安全折騰祭

ピットNo.5-20
選手用ピット

Aバドック駐車場は出初式終了まで
駐車できません。警備員の誘導に従
い駐車してください。

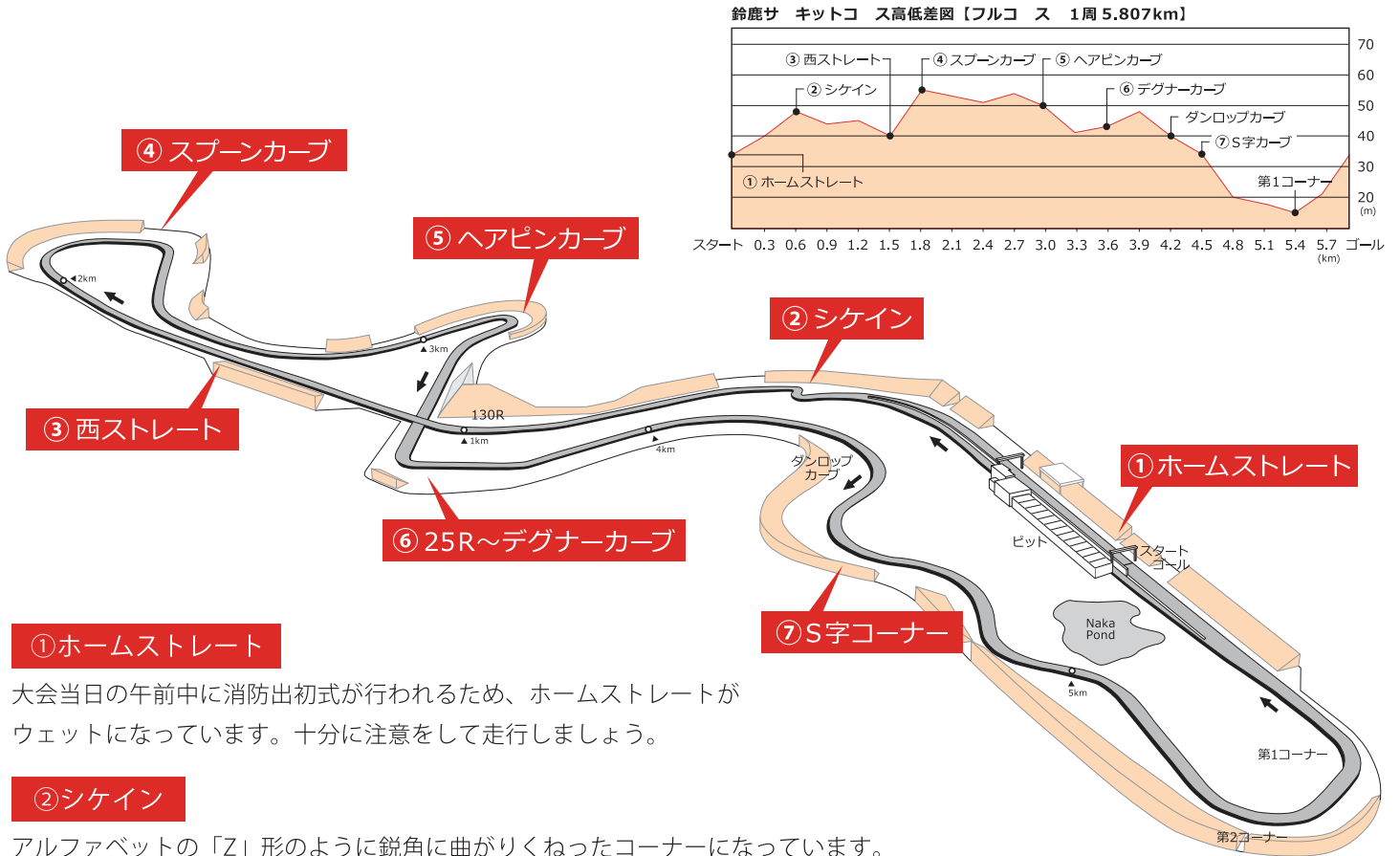
グラウンドスタンドへ
自転車持ち込み禁止

表彰ステージ
受付前にてスキル
アップ講座を行
います。

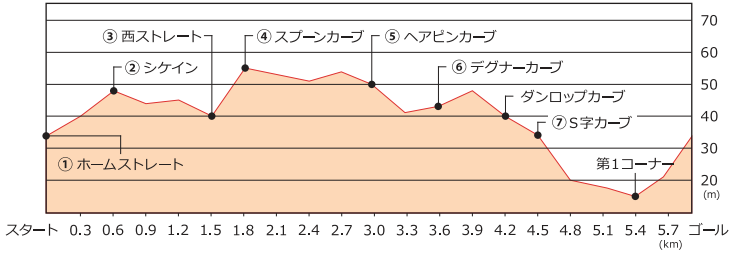
女子更衣室A-09

- 自転車持ち込み禁止
- ピットビル2F・3Fへの自転車持ち込みは禁止されています。自
転車は1Fのピットロード周辺かバドック側に、バイクラックや
スタンドに止めて施設するなど、各自で管理してください。
- ゴミ箱設置場所
ゴミの分別にご協力ください。
- 会場内火気厳禁 喫煙は所定の場所でお願致します。

レースは戦いではなく、ルールによって成り立っている競い合いです。一番大切なのは、他のサイクリスト（仲間）を危険な状態にしないという思いやりの気持ちです。コースについてしっかりと把握し、安全走行で楽しいレースにしましょう。



鈴鹿サ キットコ ス高低差図【フルコ ス 1周 5.807km】



① ホームストレート

大会当日の午前中に消防出初式が行われるため、ホームストレートがウェットになっています。十分に注意をして走行しましょう。

② シケイン

アルファベットの「Z」形のように鋭角に曲がりくねったコーナーになっています。アウト・イン・アウトのラインで走ろうとすると、並走している選手と接触します。必ず自分が走っているレーンを維持して走りましょう。

③ 西ストレート

緩やかに下っている直線なので単独で走っていると危険を感じない場所ですが、ストレートの後半は上り坂になっています。集団で走っていると、自然渋滞のように前方の選手が一気に減速しますので、追突に注意しましょう。また、ギア変速によってチェーンが外れて失速する選手や、止まっている選手もいます。目線を遠くして、前方の動きに注意しましょう。

④ スプーンカーブ

左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

⑤ ヘアピンカーブ

左緩やかに下りながら急カーブしている文字通りヘアピンカーブです。左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

⑥ R25 ~デグナーカーブ

R25 は直角に近い急カーブです。ヘアピンからデグナーへずっと下りが続いているのでスピードコントロールしてください。右側から追い越す選手は、左側を走行している選手の走行レーンを塞がないように注意しましょう。

⑦ S字コーナー

ダンロップカーブから S 字カーブ、第 2 コーナーへと連続して下りのカーブが続きます。自分の技量を自覚してコントロールできるスピードを維持しましょう。左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄りを走りたくなります。しかし右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

安全にレースを走る為の心得

スズカウインターエンデューロでは、速度差のある選手が同時に同じコースを走行します。その状況で走行中の安全を確保するためには参加選手である皆様の協力が必要です。次の5つを守ってください。

1. 走行レーンの維持

鈴鹿サーキットコースを反時計回りで競技を行います。ゆっくり走る方はコース左側のレーンを、前走者を追い越す場合は右側のレーンから追い越します。追い越した後はしばらく右側のレーン走行を維持します。サーキットには一般道路のように車線を区切るラインはありませんが、4本のラインで仕切られた走行レーンを走るイメージで走ってください。

2. 視野を広く確保する

前の選手だけを見るのではなく、目線を上げて 100m 先を見るつもりで前方の動きを把握して走行しましょう。

3. 急な進路変更は厳禁

レース中は集団で走行しているので、自分の前後左右には他の選手が走行しています。進路変更やピットへ入るときは手で合図するなど注意を促して、安全を確認してから進路変更しましょう。

4. 声出しをしよう

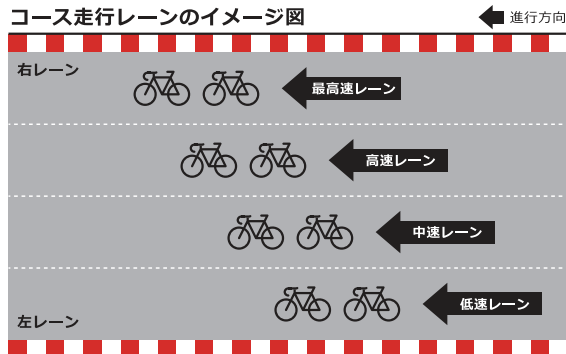
追い越しを行う時は「右、通ります」、ピットへ入るときは「ピットへ入ります」と一声掛けると、周りにはいる選手もその動きに対して構えることができるので、選手同士の接触を防止することにつながります。

5. よそ見をしない

視線は常に前に向けて走りましょう。コース脇からの声援に視線を向けたり、苦しくなって下を向いて走らないよう注意が必要です。前方をを見ていない間に、自転車は自分が考えている以上に前へ進んでしまいます。

※スタート時はたくさんの選手に囲まれてスタートしますので、特に上の5つを厳守しましょう。

コース走行レーンのイメージ図



サイクリストとしてのマナー

自分が怪我をしないように、また他の選手を事故に巻き込まないためにも以下の2つを守ってください。

1. スタート前のチェック

- 自転車の安全点検
- ヘルメットのチェック：損傷がないかチェックして、アゴ紐を締めて正しく被ります。浅く被ったり、深く被りすぎても万が一の時にヘルメットの性能が発揮されません。（注意）ヘルメットは経年劣化します。購入後3年間が保護性能有効期間です。
- 服装のチェック：靴紐やズボンの裾などがギアなどに絡みつくと危険です。できるだけ体にフィットする服装で走行しましょう。
- 計測チップ：計測チップは正しく装着しましょう。間違った向きや場所に装着すると正確な記録が計測できない恐れがあります。

2. 走行中にトラブルが発生したら

パンク

- 手を上げたり、「パンク」と声を出して周囲の選手にパンクしたことを伝えます。
- 急停車するのではなくゆっくりと減速し、後方から来る選手に注意を払いながらコース左端へ退避し、コースから出て停車します。急停車・急な進路変更は後ろからの追突事故につながります。
- コース脇を自力でピットまで戻ってきてください。無理な場合は近くの大会スタッフに現状を伝えてください。

転倒した場合

- 転倒時は、体をできるだけ小さくして最後までハンドルから手を離さないようにしましょう（手を離して手から着地すると鎖骨が折れることがあります）。動ける場合は周囲の安全を確認してコース脇へ移動します。無理な場合は体を丸めて小さくなり、スタッフの到着を待ちます。すぐにスタッフが駆けつけます。

SUZUKA WINTER ENDURO

第4回スズカウインターエンデュロ

競技について

競技者装備

- 全ての競技者はヘルメットの正しい着用を義務付けます。使用ヘルメットが、使用上安全であると認められるものはJCF（日車連）公認の物でなくても使用を認めます。（但し、硬質外殻を持つヘルメットに限る。後部に形状が伸びたロングテールのエアロヘルメットの使用は禁止）
- 全ての競技者は、主催者から用意されたゼッケン及び計測タグを指定の位置に取り付けることを義務付けます。

競技規則

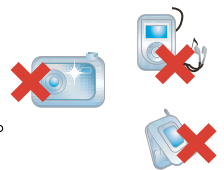
- 本大会は（財）日本自転車競技連盟の規則に準じ、本大会の特別規則によって実施します。競技規則および競技運営・管理上の規定を厳守してください。
- 競技は、計測タグ使用による自動計測システムにて実施します。もし計測タグを装着せずに競技に参加した場合、成績が表示されませんのでご注意ください。又計測チップを2つ以上装着して走行することを禁止します。
- 車検は行いませんので、各自責任を持って常に完全に整備された自転車を用いて参加してください。
- スタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図でスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。
- 全ての競技においてスタート時間に遅れた競技者は、遅れた時間分をロスタイムとして計測します。競技中、参加者は他の参加者を追い抜く場合、原則的に右側から追い抜くものとします。
- 競技時ピットレーン走行中、原則として他の競技者を追い抜く事を禁止します。
- コース走行中、自分の走行ラインを斜めに変更する場合、必ず変更する側の後方確認を行い安全であるか確認することを義務付けます。
- 競技中および試走時間中にコースを逆走することは安全管理上一切禁止します。
- 競技者は、ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。なお、携帯したものをコース上およびその周辺に破棄する事を禁止します。
- 競技中、完走打ち切りは原則として実施しませんが、審判委員および医務員から競技の中止を指示された競技者は、直ちに競技を中止してください。レース中、割り込みや斜行などの走路妨害、他の競技者を押すなどの危険な行為をした者はコース上から除外します。
- 競技は参加申込にてエントリーした選手のみが出場できます。なお事前に大会本部（選手受付窓口）に参加者変更の連絡を申し出ている場合は、代理人の出走を認めます。
- 競技参加者は競技役員の指示に従ってください。
- 大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。

競技方法

- 競技は定められた周回コースを所定の自転車で走行します。周回を重ね、それぞれ所定時間を経過した後、競技を終了し、走行した周回数およびゴール着順により順位を決定します。
- 3×3時間クラスではチーム全員員の周回数と最終週のタイム合計で順位を決定します。同一の場合はチーム先頭選手のゴール順位。
- 補給は決められたピットエリアでのみ停車して行われるものとします。指定したピット以外での第三者からの補給は見つけ次第失格にいたします。
- 競技終了の5分前よりピット閉鎖します。

禁止事項

- 携帯プレイヤー等、音楽を聴きながらの走行
- 走行中の携帯電話の使用
- 走行中のビデオおよび写真撮影の操作※商業目的で撮影される場合は別途鈴鹿サーキットの許可が必要です。
- サーキット施設内で許可なく小型無人飛行機等（ドローン・ラジコン等）の操縦・飛行等の行為を禁止します。
- トランシーバー（無線機）の利用：両耳を塞ぐことは禁止/両手離さないといけない状態での使用は禁止
法令違反になる様な機器の使用は禁止



SUZUKA WINTER ENDURO

第4回スズカウインターエンデュロ

使用自転車について

- ドロップハンドル仕様の、通常ロードレーサーと呼ばれる車種全般のことです。
- ドロップハンドル仕様のミニベロでの参加も可能です。
- クロスバイクやマウンテンバイクで参加する事はできません。

車輛規定

- 参加者が使用できる自転車は、フリー式とし、前後ブレーキは完全なものとし、使用する自転車はサーキットでの高速走行に耐える強度を備え、整備された自転車である事を義務付けます。
- トリアスロンバー、DHバー、アタッチメントバー、ブルホーンバーの使用は認められません。
- ディスクホイール、バトンホイールの使用はできません。
- 一本足スタンドは必ず外して走行してください（センタースタンドは可）。
- 電動アシスト付自転車やタンデム車、リカンベント車は出場できません。
※自転車について詳細は大会事務局までお問い合わせください。
※衣装および車輛の装飾については、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の装飾物を取り付けることは認めません。仮装衣装は、ノースリーブや極端な露出の衣装を着用することを禁止します。また着用する衣装の丈の長さは、車輪巻き込み防止のため膝頭より上とします。



コース使用

コースは試走時間およびレース以外での自転車の乗り入れはできませんのでご注意ください。

路面状態

放水によりホームストレートでは路面の一部がウエット状態となっておりますのでご注意ください。

大会開催の中止・変更について

原則として雨天決行ですが、凍結、降雪など天候による中止・変更のほか台風、地震などの天災、または天変地異により中止する場合があります。
大会開催が不可能になり、中止となった場合は参加料の返却はできません。予めご了承下さい。
開催の中止など緊急のお知らせは<http://matrix-sports.jp/lap> (LAP CLIP) で確認できます。



SUZUKA WINTER ENDURO

第4回スズカウインターエンデュロ

パワータグの取り扱い

フロントホーク固定式計測タグ

参加者全員に計測タグセット(固定式計測タグ、タイヤラップ2本/写真①)をお渡ししています。使用する自転車に装着してください。固定式計測タグに貼られているご自分のお名前を確認してから、フロントホークの図②の位置に固定してください。正しく装着されていないか、装着せずに出走された場合は計測できませんのでご注意ください。

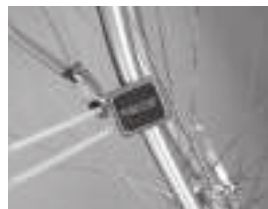
- パワータグセット
- パワータグ1コ
 - 結束用具(タイヤラップ)2本



取り付け方



1) パワータグ裏面にあるゲタ状台座の穴に写真のようにタイヤラップを通します。



4) 固定したら余分なタイヤラップを切り取ってください。



2) フロントホークに装着し、タイヤラップの細い先端を穴に通して強く引きます。



5) 取り付け完了です。

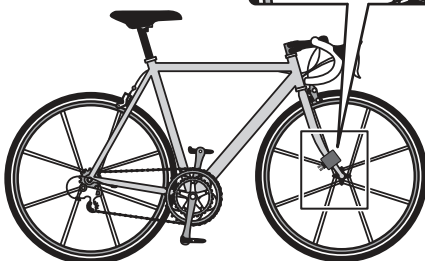


3) しっかりと固定するまでタイヤラップを引き、タグがずれたり動いたりしないか確認します。

※ご注意※

サイクルコンピュータのセンサーは、[計測タグを装着しているホークの反対側]のホークに取り付けて下さい。サイクルコンピュータのセンサーと計測タグの位置が近いと、どちらも動作しなくなる場合があります。

計測タグの位置



取り外し方



タイヤラップはニッパーなどで切って外してください。(フロントホークを傷つけないよう注意してください)

レース終了後、自動計測器「パワータグ」は計測タグ回収所へ全て返却していただけます。

計測タグの返却

・計測タグはタイヤラップを切って返却してください。

※計測タグは個人登録されていますので、返却されなかった場合は大会事務局より製作実費5,000円を請求させていただきます。

ゼッケンの取付け位置

ゼッケンは走行中外れないように、安全ピンは1本で2箇所止めしっかり取り付けてください。ゼッケンが外れてしまったまま競技を続行することはできませんので注意してください。

※ゼッケンはイラストを参考に、ジャージ(上着)の背中右側の腰位置に付けてください(ポケットが使用できる位置)。この時、脇のラインにゼッケンの下端が沿うよう後方と側面から確認できる位置に取り付けてください。

